

R の導入

1 R のダウンロード/インストール

R は以下のサイトからダウンロード可能です。

<http://cran.md.tsukuba.ac.jp/>

2014 年 8 月現在の最新バージョンは 3.1.1 です。

Windows を使用している人は、上記ページでまず“Download R for Windows”を選択し、次に“base”を選んで、一番上の“Download R 3.0.1 for Windows”を選択し、インストーラをダウンロードしてください。このダウンロードされた exe ファイルを実行することで、R がインストールされます。

MacOS X を使用している場合は、” Download R for MacOS X”から”R-3.0.1.pkg”をインストールして下さい。

なお、上記の 2 つのインストーラファイルについては、今回の配布データ内に同梱しております。

R についての詳しい説明は、解説サイトがありますので、下記の URL を参考にしてください。操作方法等も詳しく説明されています。

R-tips: <http://cse.naro.affrc.go.jp/takezawa/r-tips/r.html>

また悩んだときの参考に以下の wiki 内を検索してもよいでしょう。

RjpWiki: <http://www.okada.jp.org/RWiki/>

2 動作チェック

インストールが終わったら、以下の方法で、配布したプログラムが実行できるか確認してください。

R を立ち上げる。ここで文字化けが生じている場合は、メニューバーの“編集”から“GUI プリファレンス”を選び、Font を FixedSys などに変更し、“適用”、“OK”の順にクリックします。

メニューバーから“ファイル”を選択し、次に“スクリプトを開く”を選び、配布したサンプルプログラム「mnl.R」を開いて下さい。

この際、データファイルの場所が正しく指定されているかを確認し、必要があれば訂正してください。

R Editor 上の mnl.R をマウスで全範囲選択 (**Ctrl**+**A**) して、カーソル行または選択中の R コードを実行 (**Ctrl**+**R**)

コンソールにエラーが表示されず、青い文字で推定結果が出力されれば成功です。